



09ITU世界選手権シリーズ横浜大会レース前情報 トップ有力選手4名が決意を語る

ゴールドコーストに繋がる重要なレースに、実力者が参集

8月20日(木)、神奈川県横浜市のホテルモントレ横浜で、22日(土)、23日(日)に開催される2009トライアスロン世界選手権シリーズ横浜大会に先立ち、有力選手の記者発表が行われた。出席したのは、今年のワールドチャンピオンシップシリーズ(WCS)ロンドン、マドリード、ハンブルグ各大会で準優勝のリサ・ノルデン(スウェーデン)、今年のWCSマドリード大会優勝のアンドレア・ヒューイット(ニュージーランド)、WCSハンブルグ大会優勝のジャロッド・シューメーカー(アメリカ)、石垣島ワールドカップ優勝のカートニー・アトキンソン(オーストラリア)の4名。司会は、山本光宏 JTU 事業・広報副委員長。

まず最初に選手の紹介があった後、各選手から明日のレースへの抱負が語られた。その後、記者からの質問を受け、各選手とも活発に発言をした。

また、初めてとなる横浜でのレースに向けて、コースの印象や日本特有の暑さに対する対策なども語られ、それぞれが初体験のコースに合わせた調整を行っていることもうかがえた。



和やかな雰囲気で行った4名の選手たち

リサ・ノルデン スウェーデン



ゴールドコーストまで残り3週間、みんな調子を上げてきている。横浜は暑く、湿気の多い環境だから賢いレース展開をしていかなければならない。コースは平らだが、先週のロンドンに比べコーナーが多い。自分の技術を試す意味でも頑張りたい。

アンドレア・ヒューイット ニュージーランド



日本でのレースは、まず時差ボケとの戦い。月曜日から横浜に入り身体を慣らしてきた。05年の蒲郡での大会も暑い気候のなか戦い抜き、良い思い出ができた。横浜はコースがなだらかで早いレースが予想される。

JTU Official Partners & Official Suppliers



今回のレースは、9月に行われるゴールドコーストでのグランドファイナルに直結する大切なレース。現在世界選手権ランキング男女1位のエマ・モファット（オーストラリア）、アリスター・ブラウンリー（イギリス）両選手についても語られ、アトキンソンは「一つひとつのレースに勝つことはとても難しいのに、そのなかで何度も勝っている彼はすごい」と話し、その上で「しかしグランドファイナルは何が起こるかは誰にもわからない。だからこそまずはこのレースで勝ちたい」と強い意気込みを語った。また、ノルデンも「グランドファイナル含め、とにかく勝ちたい」と力強く語り、横浜からゴールドコーストを見据えていることを訴えた。

明日は午後5時30分より日本ナショナルチームの記者会見が行われる。



山本光宏 JTU事業・広報副委員長が司会を務めた



会見に参加した4名。左からカートニー・アトキンソン、ジャロッド・シューメーカー、リサ・ノルデン、アンドレア・ヒューイト

ジャロッド・シューメーカー
アメリカ



また日本に帰って来られて嬉しい。石垣のように暑くなることが予想されるが、暑さは苦手ではない。ゴールドコーストに向けて、調整の具合を図るという意味でも良いレースになると思う。スイムから全力で戦いたい。

カートニー・アトキンソン
オーストラリア



日本で初めて行われる世界選手権だからとても楽しみにしている。アジアの大会に参加できることも嬉しい。一つひとつのレースを勝ち抜いたところにゴールドコーストがある。今回のレースに勝ってゴールドコーストに望みたい。

JTU Official Partners & Official Suppliers

